

★ 理事長挨拶

浜松海の星女学院理事長 北脇保之

先日、南山大学外国語学部准教授による「アメリカの移民とシティズンシップ」をテーマにした高大連携授業が行われました。参加した生徒からは、「大学の授業では先生の言うことを覚えるのではなくて、いろいろな考え方があって自分の考えを明確にすることが大事だということがよくわかった。」という感想がたくさん寄せられました。生徒たちがまさに「批判的思考力」とは何かを知ってくれたことは、大変大きな成果でした。

★ 合唱コンクールの結果 —クラスの団結力を発揮し、2年菊組が最優秀—

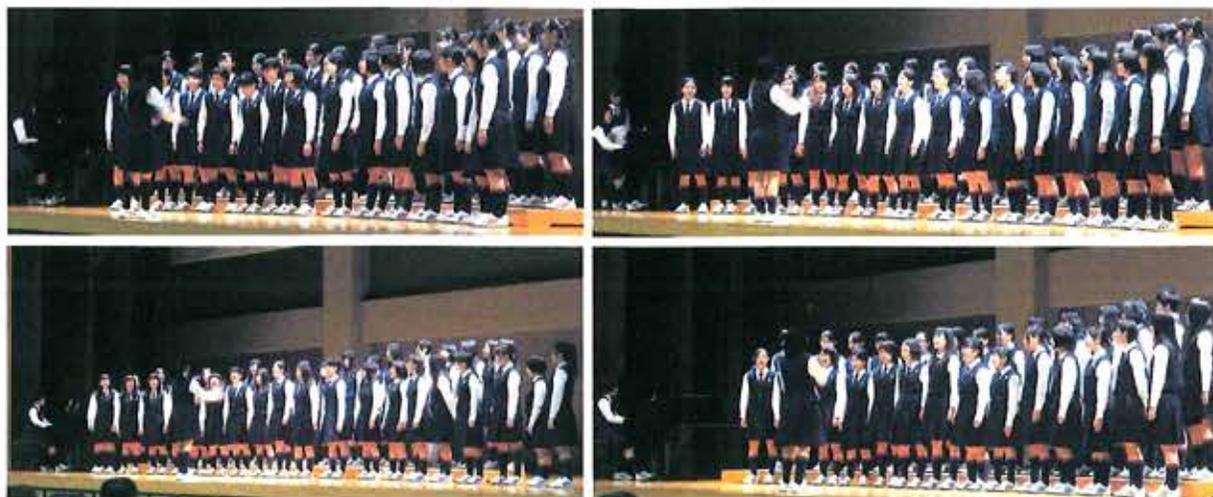
11月7日(土)、本校体育館にて合唱コンクールが行われました。どのクラスもそれぞれ朝・昼・放課後やその他の自主練習で歌声に磨きをかけ、心のこもったハーモニーを響かせました。

当日は多くの保護者の皆様にご来場いただき、ありがとうございました。審査結果は以下の通りです。【※審査員：理事長・校長・副校長・教頭・1～3学年主任(計7名)】

2年菊組「夜明け」

3年竹組「あなたへ」

3年菊組「心の瞳」



なお、歌声はもちろん、歌詞に国際政治の内容が含まれている選曲が特に素晴らしかったとの理由から、「1年梅組」が理事長賞に選ばれました。

★ 物故者追悼式の開催 —本校チャペルにて—

11月13日(金)の放課後、厳粛な雰囲気の中、創立以来、特にこの1年間に他界された本校関係者の方々及びご親族、ご友人の永遠の安息のために祈りを捧げました。参列者全員による聖歌斉唱や献花が行われ、命の尊さに思いを馳せる静かな時間となりました。



★ 南山大学特別講義の開催 —“アメリカの移民と市民権” 本校学習センターにて—

11月20日(金)の放課後、南山大学外国語学部英米学科准教授の大井由紀氏を講師に迎え、全学年の希望者を対象として90分間の特別講義が行われました。アメリカでの市民権取得に関する近年の動きを、歴史的かつ現代の問題に触れながら学び、日本の移民や国籍をめぐる問題についても議論し合う貴重な機会となりました。



★ クリスマスツリー点灯中

校内のモミの木がライトアップされ、幻想的に輝く時期を迎えました。クリスマスシーズンに飾るイルミネーションは、“イエス・キリストの世の光、個人個人に宿る心の光、太陽の輝き”を表すといわれています。冬季ならではの、色とりどりの光で彩られるツリーをお楽しみください。

また、12月11日(金)の16時から学校行事の一つとして「クリスマスツリーの下で」を実施します。聖歌隊による合唱とクワイアチャイムの演奏、放送部の聖書朗読、吹奏楽部の演奏を聴きながらキリストの生誕をお祝いします。ぜひご来校ください。



★ 「海の星のクリスマス2015」のご案内 —アクトシティ浜松中ホールにて—

12月23日(水祝)に聖誕劇と吹奏楽コンサートの2部構成で、全校参加の学校行事「海の星のクリスマス」を開催します。13時30分からの在校生対象の鑑賞会の後、17時より一般公開の公演を行います。

保護者の皆様もお時間があまりましたら会場に足を運び、クリスマス

の喜びを共にしてください。前売り券(800円)は平日9:00～16:00 学校事務室でご購入いただけます。



★ 12月の行事予定 ※中学生対象入試説明会当日は、生徒休校日となります。

1	火	防災訓練(45分短縮授業) [LHR]授業アンケート	16	水	[AM]授業(1～3限)・<学年集会(4限)>
2	水	<委員会>	17	木	【家庭学習日】 センター試験リハーサル(3松+受験生希望者)
5	土	【家庭学習日】中学生対象入試説明会	18	金	【家庭学習日】<成績会議> センター試験リハーサル(3松+受験生希望者)
7	月	[AM]期末試験 [PM]保護者面談(希望制)	19	土	終業式 冬期英語研修(~20日(日))
8	火	[AM]期末試験 [PM]保護者面談(希望制)	21	月	[AM]冬期補講(特進+希望者) 降誕祭準備
9	水	[AM]期末試験 [PM]保護者面談(希望制)	22	火	[AM]冬期補講(特進+希望者) 降誕祭準備
10	木	読書週間(~11日(金)) センター特別日課開始(3松+センター試験受験生)	23	水	【天皇誕生日】海の星のクリスマス(降誕祭)
11	金	クリスマスツリーの下で(16:00～17:00)	24	木	[AM]冬期補講(特進+希望者) 成績不良者追試
12	土	中学生対象入試説明会 クリスマス募金	25	金	[AM]冬期補講(特進+希望者) 成績不良者追試
15	火	[LHR]1年生観塚クリーン作戦			

※期末試験日午後の保護者面談は希望制になりますので、ご息女を通じて各クラス担任にお申込みください。

“海の星のクリスマス2015”の前売り券は、学校HPからもご予約いただけます。

TEL : (053) 454-5376 FAX : (053) 453-4719
学校ホームページ「<http://www.uminohoshi-h.ed.jp/>」

担当者からのメッセージ



生徒部より

生徒部長 鬼石勇樹

(平成27年11月4日の中日新聞より抜粋)

「ねえママ、あのね」向かいの座席にいた3、4歳の男の子が、小声で何度も母親に呼びかけている。若い母親はスマホから目を離さず、無言だった。男の子の指がスマホに触れる。

「何すんのよ!」と、母親が小さな手を振り払った。子供はピクッとしたが泣きもせず、あきらめておとなしくなった。本を読んでいた母さんは、母子の様子が気になり集中できない。(中略)

20分、30分と過ぎ、40分少したった。母子が降りるらしい。子供はうとうと居眠りをしていた。ほら降りるよ、と乱暴に起こされ、ホームを歩いていく。母親は子に一度も話しかけなかった。

母さんにもあの子と同じくらいの孫がいる。まさかうちの娘も電車の中でスマホに熱中し、子供をほったらかしにしていないだろうかと、心配になった。

この記事を読んだ時に、高校生を含めた子供達のネット依存症やネットトラブルが話題になる近頃ですが、私たち大人も自らが携帯電話やネット利用時のルールやマナーについて見直さなければならないと感じました。また、幼少からインターネットが身近なもので自由に利用することができる環境で成長してきた子供たちが、どのような大人になるのか不安になりました。将来、本校生徒が母親になった時に、スマホとネットという便利さと引き換えに何か大切なものを失わないために、学校と家庭が協力し彼女たちを教育していく必要があると改めて感じました。

ご家庭でもスマートフォンの利用マナーやコミュニケーションの大切さについて、ぜひご息女とお話していただきたいと思います。

進路部より

進路部長 清水明子

3年生の保護者の皆様にご連絡します。センター試験受験者を対象に12月17・18日にセンター試験リハーサルを、一般受験を控えた生徒に21・22・24・25日に冬期補講を行います。ご息女は、現在、過去の入試問題に挑んでいることと思います。解けない問題に出くわし、焦りを感じることもあると思いますが、入試問題の60%は基礎事項から出題されると言われています。その基礎事項に「抜け」や「漏れ」がないかの確認をし、補強をしておくことも今の時期に大切なことです。各自の状況に応じて、補講を上手に活用してもらいたいと思っております。

また、年内にご息女と併願校の選定を済ませておくようお願いいたします。受験日程を、ご息女にとって身体的・精神的に無理のないように考えることはもちろんですが、万が一の時の併願校への納付金をできるだけ抑えることも大切です。合格発表日や入学手続き締切日を考慮してスケジュールを組むことをお勧めいたします。さらに宿泊費・交通費等も必要になります。地方受験ができる学校もありますので、情報を収集し、ご息女にもご家庭にも、より望ましい受験日程計画を立てていただくようお願いいたします。なお、浪人は絶対にさせないというご家庭では、合格の確実性の高い(9月以降の模試の判定がAである)併願校も必ず候補に挙げておいていただくようお願いいたします。

TO1学年

1学年主任 鈴木富美子

11月中旬に本校のチャペルで物故者追悼式が行われました。本校にゆかりのある方々をしのび、その永遠の安息のために静かな祈りを捧げるという宗教行事です。

今月5日に本校の旧職員、ブレンダン・トーマス・ライアンズ先生が亡くなりました。アイルランドのご出身で美しい英語を話す先生でした。子供の頃からお父様の仕事の関係で世界中の様々な国を巡られたと聞いています。遠い異国日本にあっても母国アイルランドのケルト音楽をこよなく愛し、パイプをくゆらせながらお酒を嗜むのが好きな方でした。英語に関することなら、どんな質問でもアカデミックで明確な答えを返してくれる権威であると同時にスポーツデーなど学校行事では生徒たちと揃いのTシャツを着て、大いに盛り上がり応援してくれる気さくな方でもありました。葬儀の行われた浜松教会ではカトリックとケルトの象徴、緑を中心とした花々が棺の周りに飾られ、ケルト音楽が演奏され、先生と深い親交のあった方がその死を悼む詩を英語で叫ぶように朗読なさいました。ブレンダン先生は豊かな生涯を送られたのだと思いました。来年60周年を迎える本校ですが、このようなたくさんの先達に支えられて今があることを感じながら、聖歌を歌い献花をした追悼式でした。

TO2学年

2学年主任 砂子幸弘

今月は「チャペルアワー」と称してこの学年は横浜教区の神父様のお話を聞きました。と言っても説法ではなくご自分の青春時代の体験を交えたもので生徒もとても興味深く聞き入っていました。私たちも一歩聖書の教えが身近なものになったと思います。12月になると今までは「クリスマスファンタジア」という恒例の行事がありました。10年以上続いたこの月の一大イベントも昨年で最後の公演になり今年は「海の星のクリスマス」という名称で場所もアクトの中ホールでおこなわれます。昨年までとは少し趣向を変えますが、皆様とクリスマスを祝うのには変わりはありません。昨年よりも小規模ですがその分、家庭的情味が感じられるものになると思います。足を運んでくださった客席の皆様心が温かく感じられれば幸いです。参加する各部の部員は2年生が中心です。でもその前に期末テストがあることも忘れてはいけません。将来に向けてこの時期のテストは出願時の大切な資料になります。年末の慌ただしさとクリスマスの華やかさの雰囲気の中ですが、家庭でもご監督をよろしく願います。

TO3学年

3学年主任 中村隆之

先日、キャリア・デザイン教育の一環として、ロングホームルーム時に「立ち居振る舞い講座」が体育館にて外部講師により行われました。この講座は、立ち居振る舞いのお手本を何度も練習して体で習得するという実践形式のものではなく、どのような「心」で相手に接すべきか考えるという講義形式のものでした。

簡単に申し上げますと、「気配り」「行動力」「スピード」の三つの要素が重要であるということでした。レストランで食事を終えたご老人が食後にお薬を飲もうとしているのを察知した店員が、服薬しやすいように氷の入っていない水を持ってきた話や、東海道新幹線で東京に出張する上司のために、富士山をよく見ることが出来る窓際の座席を予約した部下の話などは、非常にわかりやすい気配りの例えでした。

講師の「立ち居振る舞いは、目から入る言葉であり、その人の心を表します」という言葉が印象的でした。